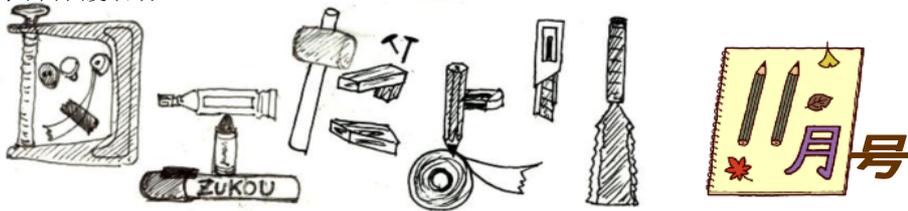


小学部保護者様

八王子市立 館小中学校
図工専科 大木 紅葉

家庭数配布

がんばったね、館小まつり！

秋を感じる間もなく、一気に肌寒くなりました。子供たちは寒さに負けず、朝ランニングに励んでいます。

休み時間や学級の時間では館小まつりの準備に取り組み、本番、テキパキと仕事をこなしていた子供たちの姿に頼もしさを感じております。

作品を鑑賞してみよう

皆さんは美術館に何回行ったことがありますか。

私が初めて美術館に行ったのは小学生の頃でした。当時の私は絵を描いたり、工作することは大好きだったのですが、美術館へ行きたいと感じたことはありませんでした。美術館は退屈なもの・・・と感じていたからです。

しかし、ある日、親に美術館に連れて行ってもらった際に、その考え方が変わりました。その日は美術館で「トリックアート」の企画展が行われていました。トリックアートとは、平面の絵が飛び出て見えたり、へこんで見えたりするアートのことです。

この作品を見たとき、私は衝撃を受け、トリックアートと美術館の面白さに魅了されました。

この日以降、美術館へ行くことが好きになり、作品をよく見るようになりました。すると、不思議と図工の授業で褒められる機会が増えていったのです。今思うと、美術館で見た絵の影響を受け、それが作品に表れていたからだと感じます。

多くのデザイナーや画家等のアーティストはよく美術館へ行きます。そこで感性を磨いているのです。

東京都は美術館が多い都道府県です。また、八王子市には「高尾山トリックアート美術館」や「富士美術館」「夢美術館」等、多くの美術館があります。

芸術の秋！ということで、休日に家族で美術館へ・・・なんて、いかがですか。

都内のおすすめ展覧会情報

印象派を超えて 点描の画家たち

内容：ゴッホ、スーラ、モンドリアンまでの画家の作品が展示されている展覧会です。

場所：国立新美術館

HP：http://km2013.jp/

ターナー展

内容：英国絵画の地位を飛躍的に高めた画家、ターナーの展覧会です。

場所：東京都美術館

HP：http://www.turner2013-14.jp/



1 年生

11月の1年生の図工では、秋を感じさせる作品をつくりました。

最初の授業では、4つ切りの画用紙にスポンジを使って背景を描きました。背景を描くときは、仲良しの色（同系色）を選ぶことで、混ざり合った際に美しくなるようにしました。その後、茶色や黄土色の画用紙をクシャクシャにしてからクレパスで木のような質感をつくり、その画用紙を破って貼ることにより、木を描きました。最後に指先に絵の具を付けて葉の部分を描きました。

木の絵が完成した後は、落ち葉でコラージュに挑戦しました。ラミネートフィルムに落ち葉やお花紙をコラージュして作品をつくりました。コラージュした写真を窓辺に飾ると葉が光を通して美しく見えました。是非、家でも窓辺で鑑賞してみてください。

2 年生

11月の授業では落ち葉や枝、ドングリを拾って、それらを画用紙に貼って絵を描きました。落ち葉の形から様々なものを想像することができました。

最近の図工では、鳥の絵を描く学習に取り組んでいます。まず、自分の手を黒い画用紙に写し、その手の形の中を絵の具で着色しました。この手の形を切って組み合わせて鳥をつくっていきます。

今週の授業では鳥のいる背景を描きました。木の部分はドリッピングという技法を使って描きました。ドリッピングとは絵の具を画用紙に乗せてからストロー等で吹いて絵の具を広げる技法です。またひとつ、新しい技法をマスターできました。

次の授業では、背景に鳥をつくって貼って完成する予定です。





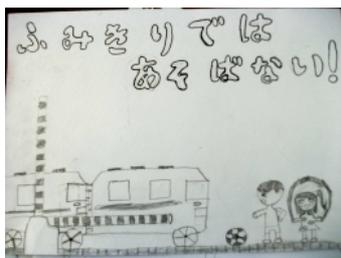
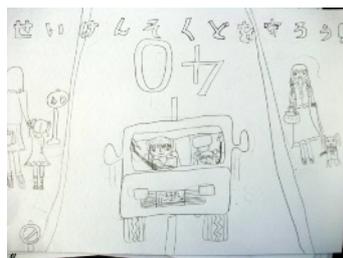
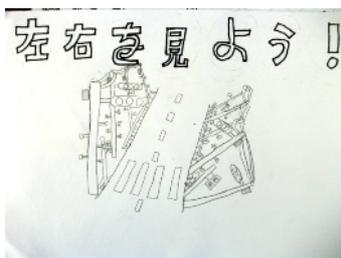
3年生

3年生は「タイヤをつけて出発進行！」の作品が完成しました。最後は車に色付けをし、立派な車が完成しました。タイヤの部分も動くように工夫しました。どの車も個性を表現することができており、見ていると楽しくなる作品に仕上げることができました。

今週の図工から、「交通安全ポスターコンクール」に取り組み始めました。これは毎年、市内の小学校の3年生が取り組んでいるコンクールです。今週の授業では、ポスターに書きたい標語を考え、鉛筆で絵を描きました。

「交通ルールを守ろう！」「左右を見よう！」「徐行運転をしよう！」「制限速度を守ろう！」等、子供たちそれぞれが懸命に標語を考えました。

標語に合わせて、その標語が伝わる絵も描いています。



4年生

4年生の図工では版画の学習が終了しました。版画の最後の授業では、版を刷りました。自分たちが頑張って彫った板にインクをつけて刷ることができた瞬間、子供たちは達成感を感じ、楽しそうな顔をしていました。

版画の学習が終わった後は、「どうぶつアパート」の学習に取り組みました。動物の住んでいるアパートを考えてアイデアスケッチをし、それを参考にしながら土の粘土で作品をつくり始めました。

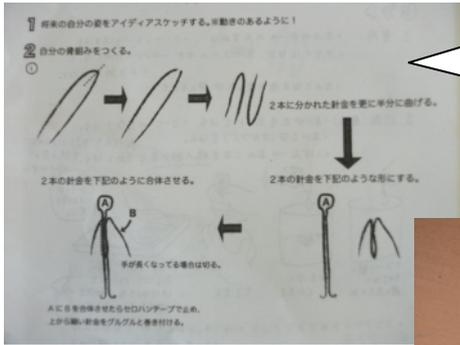
動物の顔をしているアパートや枝が出ているアパート、外階段が付いているアパートなど、色々な形のアパートをつくることができていました。たったの2時間で大分仕上がってきました。来週完成する子も出てきそうです。



初めての版画は大成功！

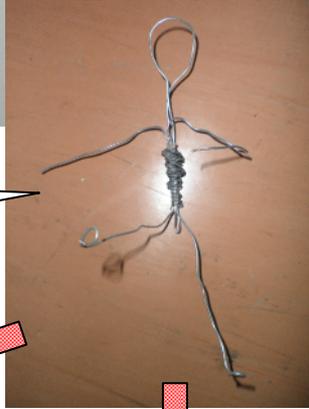
住んでいる動物もアパートの形も様々！
土の粘土の質感を感じながら
つくることができています。





プリントを参考にしながら・・・

動きが伝わるように作り直しました。



5年生

5年生は、将来の自分をつくり始めました。最初の授業では未来の自分たちは何をしているのかを考えて、アイディアスケッチをしました。サッカー選手、野球選手、女優、トリマー、漫画家、幼稚園の先生・・・自分たちの夢をアイディアスケッチに描くことができました。

次の授業では、針金で将来の自分の骨組みをつくりました。頭、腕、脚、胴体、バランスを決めるのが大変でした。

その後、針金を曲げて形を決め、紙粘土を付けて形をつくっていきました。紙粘土には絵の具を混ぜて、自分の肌に近い色にしました。

左の写真はその写真ですが、この時点でこの作品が何をしている人間なのかがなんとなく伝わってきますね。

次の授業では、服や髪の毛、顔等をつくります。

6年生

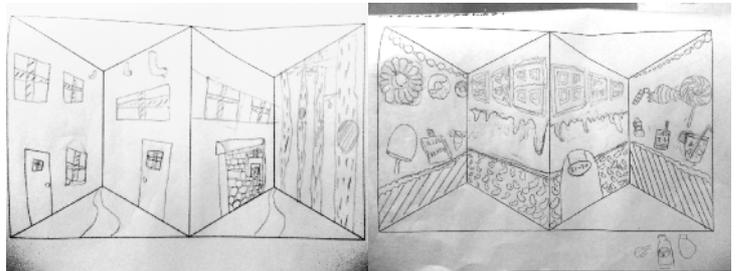
6年生はついに「動く！？不思議な街」の学習に取り組んでいます。これは、左右に動いて見ると、絵もそれに合わせて動いて見えるトリックアートです。

最初の授業では、アイディアスケッチをし、空と地面の部分を描いていきました。

空は青空、夕焼け空、星空等をグラデーションで表現しました。

地面の部分は、クネクネしている土の道や、草むら、アスファルトの道路、石畳、レンガの道等、様々なアイデアを表現することができていました。

地面が完成した子は建物の部分も描いていきました。遠近感のあるように描くのはなかなか難しいですが、どの子も集中して活動し、遠近感のある絵を描くことができていました。



空も地面も建物も個性が表れていますね。